

ツキノワグマの市街地出没を想定 クマ出没想定訓練地域

7月15日に花輪地区の小平周辺で、クマ出没想定訓練が実施され、市職員や猟友会会員、警察署員、消防署員などおよそ20人が集まりました。訓練は、昨年クマによる人身事故が発生した場所で行われ、クマの目撃通報があったという想定で、円福寺の駐車場に現地本部を立ち上げることから始まりました。

その後、クマを追い上げる班や小学校に近づけないように警戒する班、周辺の住宅にクマの警戒を呼び掛ける班などに分かれ、現地本部の指示を受けながら、それぞれの動きを確認しました。

当初は、クマを森林へ追上げることを検討していましたが、民家の近くにクマが移動したことを受け、銃によるクマの駆除に判断を切り替え、警察による発砲許可から発砲までの流れを確認しました。



子ども楽しむ 奏 & YOMUYOMU & PYONPYON GO

7月8日に文化の社交流館コモッセで、「奏 & YOMUYOMU & PYONPYON GO」と題したイベントが行われ、親子8組が参加しました。このイベントは、子ども未来センターが毎月開催しており、親子で楽しむ内容となっています。

この日は、子どもと歌を歌ったり、本の読み聞かせを聞いたり、お母さんと一緒に体を動かしたりしていました。子どもたちからは、たくさん笑顔がこぼれていました。



本格的な夏が到来 鹿角市民プール開き

7月10日に鹿角市民プールがプール開きし、多くの子どもたちで賑わいました。

この日の朝は、ぼつぼつと雨が降りあいにくの天気でしたが、10時に市民プールの門が開くと、子どもたちの来場を待っていたかのように、瞬間に晴れ渡り、絶好のプール日和となりました。

訪れた子どもたちは、友だちや家族と泳いだり、水を掛け合ったりして、2年ぶりに開かれたプールを楽しみました。鹿角市民プールは、8月24日まで遊泳できます。



鹿角にまつわる語りを 披露 鹿角のむがしっこの集い

7月10日に八幡平市民センターで、鹿角民話の会による「鹿角のむがしっこの集い」が行われました。

「むがしっこ」は、かつて子どもを寝かしつける際に語られていたと言われており、ゆつたりとした口調で昔の人々の生活や村の様子を語るものです。

語りを始める前に、司会を務めた鹿角民話の会の沢田さんが「聞き手の反応も物語を面白くする」と話し、訪れた方々は物語を聞きながら「なんだそうだったの」などと聞き返しながら、昔語りを楽しみました。

この日は、動画配信サイトYouTubeの撮影も行われ、映像がライブ配信されました。ご興味がある方はQRコードからご覧ください。

YouTube



きらびやかな衣装で伝統の舞を披露 湯瀬神明社先祓舞が厳かに奉納

7月18日に八幡平地区の湯瀬地域で、大正時代から伝わるおとされる市の無形民俗文化財「湯瀬神明社先祓舞」が行われました。

先祓舞は、神輿の先導にあたりお祓いをするもので、神明社の境内で神事が執り行われました。

踊り手は、袖に鈴が付いたきらびやかな衣装をまとい、輪になって太鼓や笛の音に合わせて伝統の舞を披露し、迫力ある舞の動きが、観客を魅了しました。

今年も新型コロナウイルス感染症対策のため、規模を縮小しての開催となりました。



ホストタウンハンガ リーを応援する記念 切手の販売を開始

7月19日に本市とハンガリーのホストタウンフレーム切手が完成し、関市長と郵便局の関係者らが報告会を開きました。

切手には本市の自然風景や大湯環状列石のほか、姉妹都市であるショプロン市の、代表的な建築物や街並みなどが採用され、本市とショプロン市の魅力が詰まった切手となっています。

ホストタウンフレーム切手は市内郵便局のほか、郵便局のホームページからも購入できます。

